

## 1 目的

市内中・高校生に、リーダーとしての知識や技能を学んでもらうとともに、子どもを対象とした行事の企画・運営に参加してそれらを実践することにより主体性を育み、学校や地域のリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的としています。

## 2 参加方法

中高生になると、部活動や学習塾などの予定があり、全ての講座に参加することが難しい場合があります。このため、受講可能な日だけの参加や、興味・関心のある講座だけの受講もできるようにしているほか、できる限り皆さんの都合に合わせて開催日時を決めています。

## 3 令和4年度の活動内容

### 【4月：話し方・伝え方講座とラジオ番組収録体験】

F Mおたるパーソナリティーの田口智子さんを講師に、知人・友人との話し方と、ラジオ番組での話し方の違いから「人にものごとを伝えることの難しさ」を学びました。

その後、学んだことをいかすべく、ラジオ番組収録を行いました。田口さんや他の出演者の方のフォローをいただき楽しく番組収録を行うことができました。



### 【6月：ゲームによるアイスブレイク】

アイスブレイクとは「氷をとかす」という意味で、初対面の人同士が緊張をときほぐすために行う、簡単なゲームなどのことです。

6月は、おたる自然の村の二杉さんを講師に迎え、簡単なゲームによるアイスブレイクをいくつか行い、ゲームの楽しみ方や、ルールを上手に説明するコツについて学びました。

また、アイスブレイクを学んだ後は、8月に開催する「子どもフェスティバル」で行うゲームなどについて意見・アイデアを出し合いました。

### 【7月：子どもフェスティバルの企画】

6月に引き続き、「子どもフェスティバル」で行うゲームなどについて意見・アイデアを出し合いました。

最初のうちは、なかなか意見がまとまりませんでしたが、職員のアドバイスも取り入れながら、夏を意識して水を使った涼しげなゲームを行うことや、簡単なおもちゃ作りを行うことで意見をまとめることができました。



### 【8月：子どもフェスティバルの運営】

「子どもフェスティバル」の前日準備と当日の運営を行いました。ジュニアリーダーの4人も参加し、来場者の案内をしてくれたり、子どもと一緒にゲームやもの作りで遊んでくれたりしました。

多くの子どもや保護者の皆さんが楽しんでいる様子を見てリーダーたちも充実感・達成感を得られたようです。



### 【11月・12月：新年子ども会の準備】

1月に行う「新年子ども会」で行うことを話し合い、ゲームで使う大道具や小道具などを作りました。

「子どもフェスティバル」の経験をいかし、話し合いや役割分担がテキパキと進められていきましたが、実際に自分たちで遊んでみて、危険なところはないか、改良した方がよいところはないかといったことも確認しました。

### 【1月：新年子ども会の運営】

新年子ども会には、55人の子ども・保護者の方々が遊びに来てくれました。

シニアリーダーに加え、ジュニアリーダーも4人参加してもの作りの手伝いや、子どもと一緒にゲームを楽しんでいましたが、「楽しかった、ありがとう」とリーダーたちに声をかけてくれる保護者の方もいらっしゃいました。



### 【3月：とんぼ玉制作体験と堺町通り観察】

令和4年度最後のシニアリーダー研修は、新たに中学生となる研修生を対象に、とんぼ玉制作体験と堺町通りの散策を行いました。

とんぼ玉制作は、初めて体験する研修生がほとんどで、全員が真剣な表情で取り組んでいました。

また、小樽が「硝子の町」と言われるようになった背景を考え、堺町通りに立ち並ぶ歴史的建造物を見ながら、小樽の歴史について学びました。